

マニユライフの投資型年金

ManuSolution

マニユソリューション

クォーターリー パフォーマンス レポート 四半期運用報告 2018年7月～9月

経済概況 (2018年7月～9月)

【日本経済】2018年8月の鉱工業生産指数は前月比+0.7%、在庫は-0.4%となりました。製造工業生産予測調査によると、生産は2018年9月に前月比+2.7%の後、2018年10月は同+1.7%が見込まれています。

2018年8月の全国消費者物価指数（除く生鮮食品）は前年同月比+0.9%となりました。食料およびエネルギーを除く指数は、前年同月比+0.4%となりました。2018年9月の東京都区部の消費者物価指数（除く生鮮食品）は、前年同月比+1.0%となりました。

日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続しました。

【米国・欧州経済】米国の2018年4-6月期実質GDP成長率は前期比年率+4.2%となりました。FRB（米連邦準備制度理事会）は政策金利レンジを1.75～2.00%から2.00～2.25%に引き上げました。

ユーロ圏の2018年4-6月期実質GDP成長率は前年同期比で+2.1%となりました。ECB（欧州中央銀行）はマイナス金利政策および量的緩和政策を維持しました。

特別勘定のユニット価格騰落率一覧 (2018年9月30日現在)

	特別勘定名	ユニット価格 18/9/30現在	騰落率					設定日	
			直近1ヶ月	直近3ヶ月	直近6ヶ月	1年	3年		設定来
バランス型/ ライフスタイル・ ポートフォリオ	積極成長型 ライフスタイル・ ポートフォリオ	136.7456	0.89%	2.73%	3.62%	4.51%	18.40%	36.75%	2002/2/5
	安定成長型 ライフスタイル・ ポートフォリオ	123.9652	0.31%	1.22%	1.42%	1.74%	9.30%	23.97%	2002/2/27
	堅実成長型 ライフスタイル・ ポートフォリオ	117.2626	-0.01%	-0.21%	-0.50%	-0.54%	2.10%	17.26%	2002/2/12
	ジャパン・バランス・アクティブ・ ファンド	149.1968	3.29%	2.43%	2.68%	3.51%	14.03%	49.20%	2003/1/24
国内株式型	日本成長株ファンド	234.3149	3.84%	2.55%	0.57%	6.78%	36.37%	134.31%	2003/1/28
世界株式型	グローバル・ファンド	285.3319	1.18%	5.54%	10.21%	10.07%	31.33%	185.33%	2003/1/23
世界債券型	ユーロ・ボンド・ファンド	124.2682	1.07%	1.44%	-1.77%	-3.24%	-7.77%	24.27%	2003/1/23
	グローバル・ボンド・ファンド	120.1966	1.13%	1.35%	1.18%	-3.36%	-7.47%	20.20%	2003/1/21
	USショートターム・ファンド	90.9345	2.18%	2.61%	6.52%	0.09%	-9.13%	-9.07%	2003/1/28
債券型	元本確保型特別勘定	(該当ページにおいて、積立金額計算用利率の推移をご参照ください)							

*上表の騰落率は、それぞれの月数をさかのぼった該当月の月末日付ユニット価格に対して、当期末のユニット価格がどれくらい変動したかを計算したものです。

*ユニット価格とは、各特別勘定1ユニット（1口）あたりの価格のことをいい、単位は円です。設定日におけるユニット価格は、いずれの特別勘定も100円です。

*投資信託を主たる投資対象とする特別勘定のユニット価格と、投資対象の投資信託の基準価額とは必ずしも一致するものではありません。

*ユニット価格は小数点第5位以下を切捨て、騰落率は小数点第3位以下を四捨五入して表示しています。

当資料は、当社の変額個人年金保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。

当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

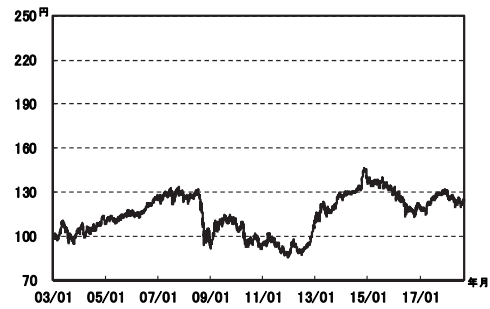
上記の表は過去の実績を示したものであり、現在または将来の運用成績・内容を保証またはあらかずものではありません。

投資信託を主たる投資対象とする特別勘定の運用レポートには、各運用会社よりマニユライフ生命に提供される情報が掲載されますが、その部分の内容に関してはマニユライフ生命は一切の責任を負いません。

「マニユソリューション」の商品内容の詳細については、商品パンフレット、「ご契約の概要」「注意喚起情報」「重要事項のお知らせ/ご契約のしおり/約款」「特別勘定のしおり」等にてご確認ください。

4. 安定成長型外国債券 (B)

ユーロ・ボンド・ファンドの状況 (2018年9月末現在)



特別勘定の平均資産構成比

投資信託 96.6% 現預金 3.4%

運用会社	三菱UFJ国際投信株式会社
投資信託名	ユーロ・ソブリン・オープン VA (適格機関投資家専用)
純資産総額	19 百万円 (2018年9月28日現在)
コメント (2018年9月28日現在)	

<投資環境と運用状況>債券市場では、欧州長期金利は、8月にかけて概ねもみ合いで推移しましたが、9月に、イタリアの財政見直しに対する警戒感が後退したことや、ドイツ等の企業センチメントが改善したことなどを背景に、上昇して終えました。上記イタリアの財政見直しに対する警戒感の後退等を背景に、イタリアなどのドイツ国債に対する金利スプレッド(利回り格差)は縮小しました。為替市場では、欧州金利上昇による日欧の金利差拡大などから、ユーロは対円で上昇しました。投資行動としては、債券デュレーションはベンチマーク比中立を維持しました。通貨配分では、作成期を通じてユーロをベンチマーク比少なめで維持しつつ、7月にノルウェークローネを同中立からオーバーウエイトに、8月に英ポンドを同オーバーウエイトから中立に変更しました。

<今後の運用方針>当面の欧州長期金利は、もみ合う展開が想定されます。欧州では、コアのインフレ圧力は抑制されており、また、欧州中央銀行(ECB)は、現在の主要政策金利を少なくとも2019年夏まで維持する方針を示していることなどから、債券市場の需給環境は良好なことが見込まれます。イタリアの政治動向など、今後の状況推移を見極めながら債券デュレーションおよびユーロ圏の国別投資比率を調整する方針です。通貨配分では、必要に応じて現行比率の調整を行います。

◆ファンド(課税前分配金再投資換算基準価額*)とベンチマークの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年間	3年間	5年間	設定来
ファンド収益率	1.3%	1.9%	-1.0%	-1.7%	-3.2%	13.5%	69.7%
ベンチマーク収益率	2.0%	0.7%	-1.2%	-0.9%	-0.1%	18.4%	98.2%
差異	-0.7%	1.2%	0.2%	-0.7%	-3.0%	-4.9%	-28.5%

※収益率は、年率換算していません。収益率は、月次の収益率より算出しています。※基準価額は信託報酬控除後のものです。※課税前分配金再投資換算基準価額は、この投資信託の公表している基準価額に、各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、三菱UFJ国際投信が公表している基準価額とは異なります。※FTSE欧州世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCIにより運営され、欧州主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額比率で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCIは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCIに帰属します。※上記のベンチマークは、FTSE欧州世界国債インデックス・データに基づき、2002年12月27日の値を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化し計算したものです。

◆資産構成比

当ファンドの純資産構成比率	
マザーファンド組入	99.7%
現金+現金+預金+その他	0.3%
合計	100.0%
マザーファンドの純資産構成比率	
債券合計	99.0%
現金+現金+預金+その他	1.0%
合計	100.0%

◆組入通貨配分比率 (為替ヘッジ考慮後)

通貨	ウェイト
ユーロ	79.9%
英ポンド	13.8%
スウェーデンクローナ	0.9%
デンマーククローネ	0.0%
その他	5.5%

◆残存期間別構成比率

残存期間	ウェイト
3年未満	16.3%
3~5年	15.1%
5~7年	14.0%
7~10年	23.2%
10年以上	31.4%

※ウェイトはマザーファンドの対純資産総額比率です。

◆債券組入上位10銘柄

銘柄	ウェイト	通貨	残存年数
(1) イギリス国債	6.9%	英ポンド	28.2
(2) 欧州連合(EU)	6.3%	ユーロ	9.1
(3) ドイツ国債	5.4%	ユーロ	27.9
(4) スペイン国債	4.6%	ユーロ	9.6
(5) フランス国債	4.4%	ユーロ	5.1
(6) フランス国債	4.3%	ユーロ	9.7
(7) 欧州投資銀行	4.3%	英ポンド	10.2
(8) スペイン国債	4.1%	ユーロ	6.1
(9) 欧州金融安定化基金(EFSF)	3.9%	ユーロ	5.4
(10) スペイン国債	3.4%	ユーロ	4.8

※ウェイトはマザーファンドの対純資産総額比率です。

◆ポートフォリオ特性

	マザーファンド	ベンチマーク
平均残存年数(年)	11.1	9.7
修正デュレーション	8.9	8.2
平均最終利回り	0.9%	1.0%

5. 安定成長型外国債券 (C)

グローバル・ボンド・ファンドの状況 (2018年9月末現在)



特別勘定の平均資産構成比

投資信託 96.2% 現預金 3.8%

運用会社	三菱UFJ国際投信株式会社
投資信託名	グローバル・ソブリン・オープン VA (適格機関投資家専用)
純資産総額	1,618 百万円 (2018年9月28日現在)
コメント (2018年9月28日現在)	

<投資環境と運用状況>債券市場では、米連邦準備制度理事会(FRB)の9月利上げや堅調な米国景気と、中国製品に対する追加関税の影響や原油価格の上昇によりインフレ率が上昇するとの思惑などから、米国の長期金利は上昇しました。欧州は、トルコリラの急落などからリスク回避的な動きとなる場面もありましたが、インフレ率が上昇傾向にあることやイタリアの財政懸念が一時的に後退したことなどから、ドイツの長期金利は上昇しました。為替市場では、米ドルはFRBが9月に利上げしたことや米国経済が堅調に推移していることなどから、円に対して上昇しました。ユーロは、貿易摩擦問題で米国と欧州連合(EU)が関税や貿易障壁の撤廃に向けて取り組むことで合意したことや欧州中央銀行(ECB)高官がインフレ見直しに強気な見方を示したことなどから、円に対して上昇しました。当ファンドでは、デュレーションはほぼベンチマーク程度とし、米国をオーバーウエイトする一方、ユーロや日本をアンダーウエイトしています。

<今後の運用方針>債券戦略では、金融緩和と政策を継続している日本やマイナス金利政策を継続しているユーロ圏について長期債中心の保有とすることで、ポートフォリオのインカム向上を目指します。為替戦略では、FRBの追加利上げなどにより通貨の上昇や利息収入が期待できる米国などの通貨配分を高めに維持する一方、低金利通貨である円やユーロを低めに維持します。

◆ファンド(課税前分配金再投資換算基準価額*)とベンチマークの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年間	3年間	5年間	設定来
ファンド収益率	1.3%	1.8%	2.1%	-1.8%	-2.8%	16.3%	62.1%
ベンチマーク収益率	1.4%	0.9%	1.5%	-0.6%	-0.3%	16.9%	71.6%
差異	-0.1%	1.0%	0.6%	-1.2%	-2.5%	-0.6%	-9.5%

※収益率は、年率換算していません。収益率は、月次の収益率より算出しています。※基準価額は信託報酬控除後のものです。※課税前分配金再投資換算基準価額は、この投資信託の公表している基準価額に、各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、三菱UFJ国際投信が公表している基準価額とは異なります。※FTSE欧州世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCIにより運営され、欧州主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額比率で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCIは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCIに帰属します。※上記のベンチマークは、FTSE欧州世界国債インデックス・データに基づき、2002年12月27日の値を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化し計算したものです。

◆資産構成比

当ファンドの純資産構成比率	
マザーファンド組入	99.7%
現金+現金+預金+その他	0.3%
合計	100.0%
マザーファンドの純資産構成比率	
債券合計	98.8%
現金+現金+預金+その他	1.2%
合計	100.0%

◆組入通貨配分比率 (為替ヘッジ考慮後)

通貨	ウェイト
USD	43.5%
ユーロ	25.7%
英ポンド	5.8%
日本円	10.3%
その他	14.8%

◆残存期間別構成比率

残存期間	ウェイト
3年未満	22.7%
3~5年	10.0%
5~7年	16.1%
7~10年	18.8%
10年以上	32.4%

※ウェイトはマザーファンドの対純資産総額比率です。

◆債券組入上位10銘柄

銘柄	ウェイト	通貨	残存年数
(1) アメリカ国債	4.7%	USD	25.4
(2) アメリカ国債	4.3%	USD	1.9
(3) 日本国債	3.3%	円	16.7
(4) アメリカ国債	3.3%	USD	0.9
(5) アメリカ国債	3.2%	USD	0.4
(6) アイルランド国債	2.9%	ユーロ	6.5
(7) アメリカ国債	2.5%	USD	25.9
(8) 日本国債	2.0%	円	15.7
(9) 欧州投資銀行	2.0%	ポンド+ユーロ	4.1
(10) アメリカ国債	1.8%	USD	3.9

※ウェイトはマザーファンドの対純資産総額比率です。

◆ポートフォリオ特性

	マザーファンド	ベンチマーク
平均残存年数(年)	9.6	9.1
修正デュレーション	7.8	7.8
平均最終利回り	2.0%	1.6%

当資料は、当社の変額個人年金保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。

当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますので、あらかじめご承知ください。

上記の表は過去の実績を示したものであり、現在または将来の運用成績・内容を保証またはあらわすものではありません。

投資信託を主たる投資対象とする特別勘定の運用レポートには、各運用会社よりマニュアル生命に提供される情報が掲載されますが、その部分の内容に関してはマニュアル生命は一切の責任を負いません。

「マニュアルソリューション」の商品内容の詳細については、商品パンフレット、「ご契約の概要」「注意喚起情報」「重要事項のお知らせ/ご契約のしおり/約款」「特別勘定のしおり」等にてご確認ください。

マニュアル生命保険株式会社